



優秀賞



施工後4年9か月経過

防草ブロック(左側)

従来ブロック(右側)

道路分野

次世代へ繋ぐ環境型「道路インフラデザインの創生」

植物の特性を利用した防草技術（防草ブロック・エレファンドレン）

取組概要

何も使用する事なく植物の成長を抑制させることで、従来の防草製品や対策工事が不要となる技術開発。構造物（二次製品）と構築物（舗装材）がつくる目地部から発生する植物に対して、人・時間・費用をかけることなく防草を可能とし、従来対策工事で排出していたCO2削減を実現。

受賞理由

植物の成長特性に着目した防草技術が独創的であり、従来の防草技術に比べてCO2の排出削減が図られるなど、環境にも配慮した技術であるほか、大学との共同研究や実道路におけるフィールドでの試験など産官学が連携した実施検証を継続していることなどが評価された。

取組のポイント

- 植物の成長メカニズムを利用した防草技術、製品は他に例が無い。
- 何も使用せず防草効果を維持できることから、社会的効果が高い（費用ゼロ、環境負荷ゼロ技術）
- 屈性に着目し実験を繰り返し、研究成果から製品を開発する。
- 植物発生後の対処療法的ではなく、根本的に地下域による防草を実現している。
- 防草ブロックの製造には、多くが従来型枠の改造により製品化を可能とする。
- 道路維持予算を軽減し、他の道路維持作業の拡張化を可能とする。
- 道路二次製品に限らず、他に応用できる技術となる。

受賞者について



受賞者

全国防草ブロック工業会 / 会長 矢野明正
石田鉄工(株) / 代表取締役 石田昭三
防草研究会 / 代表 石川重規
名古屋大学 生物機能開発利用研究センター
/ 教授 北野英己

コメント

この度、大変名誉な受賞と評価頂き関係者一同深く謝意を申し上げます。私たちは、豊かな生活を求め長年に渡り多くを犠牲にしてきました。地球誕生からほんの点にすぎない歴史が、人々の生活と地球環境を変えています。jWBAの防草製品は「人・時間・予算」を不要としCO2削減をお約束します。目に見えない小さな技術ですが効果は見る事ができます。

団体概要

植物の成長メカニズムを利用した防草技術を道路ブロック製品、鋼製排水溝へ採用する。現在ではシート資材から道路目地材、多機能造粒砂等を広範囲に製造開発し環境施策の推進と意識向上をもって、社会及び国土開発の発展に寄与するものとし本会員の地位向上と地域社会・公共の利益に資することを目的とした企業集団です。

問い合わせ先

全国防草ブロック工業会
事務局 岩田憲明
0565-43-3700 / iwata@yanocon.co.jp
顧問 石川重規
090-3584-4008 / shigen@plum.ocn.ne.jp